

# くりんく

『くりんく』とは「栗原をリンクする」の意味。  
Link リンクとは、つなぐこと。連結すること。連鎖。

発行: 栗原市在宅医療・介護連携支援センター

住所: 栗原市築館宮野中央三丁目1番地1

TEL: 0228-21-5357

FAX: 0228-21-5358

メール: zaitaku@kam.or.jp



在宅センター  
QRコード

日中は夏の暑さが続いておりますが、朝晩は涼しくなり、過ごしやすくなりました。残暑もあと少しというところでしょうか。さて、今回の交流紙くりんく23号は、4月から8月までの開催事業についてご報告いたします。涼しい部屋でホッと一息つきながら、ぜひ皆さんでご高覧ください。

## 医療の知識を深めよう！

### 令和8年度 第1回医療勉強会『口腔ケア』

医療と介護の専門職者が、お互いの専門性を活かし知識を深める第1回医療勉強会を、4月21日(火)、栗原中央病院講義室で開催しました。ピース訪問看護ステーション 言語聴覚士 山田明里様を講師にお迎えし、「高齢者への口腔ケアの必要性と行い方」についてお話いただきました。参加者からは「洗浄スポンジの水分はどれくらい絞ったら良いのか」「嘔吐反射のある方へのケアの方法は？」など疑問や苦慮していることが質問され講師からの丁寧なアドバイスがありました。

第1回  
『高齢者への口腔ケアの  
必要性と行い方』  
参加者 55名

ピース訪問看護ステーション  
言語聴覚士  
山田明里 様



### 栗原中央病院 地域医療連携室&在宅センター合同研修会 第40回よらいん&多職種交流研修会

医療と介護の専門職者が一堂に会し交流を深める第40回よらいん&多職種交流研修会を、5月19日(火)栗原中央病院 講義室にて開催。72名の方が参加くださいました。栗原中央病院から各病棟・部署の紹介、PRをご希望された事業所からの事業所紹介を行いました。シャッフル自己紹介&ビンゴ大会では、積極的に他事業所の方と交流する姿が見られ、参加者同士の距離がグッと縮まったようでした。今回は栗原中央病院地域医療連携室と合同開催であった為、より一層の連携深化に繋がる機会となりました。



開会の挨拶をいただいた中鉢院長(左)、病棟・事業所紹介の様子(中央)、シャッフル自己紹介の様子(右)



さざほざと集まって交流しましょう😊  
令和8年度さざほざの会 ブックカフェ



さざほざと集まって繋がりを深めることを目的としたブックカフェを、第1回は5月28日(木) 一迫多目的広場研修室、第2回は7月22日(水) 特別養護老人ホーム桂葉を会場に開催いたしました。美味しい食事の後にお勧めの本を紹介していただき、楽しく交流を深めました。

今年度は栗原市内のあちらこちらでブックカフェを開催予定です。お勧めの本や雑誌、漫画、皆さんに知ってほしいと思った新聞の記事など、何でもOK! お気軽にご参加ください😊



第1回ブックカフェ  
参加者 13名



第2回ブックカフェ  
参加者 8名



### 令和8年度“いつもと違う”に気づく 介護職者向け フィジカルアセスメント研修会

フィジカルアセスメント研修会の第1回を6月17日(水)、第2回を8月18日(火)に栗原中央病院 講義室にて開催しました。第1回は栗原中央病院 感染管理認定看護師 上野賀子氏を講師にお迎えし、最近話題の感染症とその予防についてお話いただきました。第2回は栗原中央病院 心不全療養指導士 澤邊直美氏から、心不全 いつものケアから気づくポイントや受診のタイミング等をお話いただきました。どちらの回も60名を超える参加者で、関心の高さが伺えました。



第1回『感染症』  
参加者 66名  
栗原中央病院  
感染管理認定看護師  
上野賀子 様



第2回『心不全』  
参加者 61名  
栗原中央病院  
心不全療養指導士  
澤邊直美 様



# くりはらの医療介護フェア 開催！

“最期まで自分らしく暮らせるまち くりはら”をテーマに、医療と介護の専門職者の連携強化と、市民への普及啓発を目的とした『くりはらの医療介護フェア』を、7月4日(土)栗原文化会館にて開催しました。第1部は医療と介護の展示や相談会、縁日コーナーを開催。13の職能団体がそれぞれブースを設置し、市民からの相談を受けたり、体力測定や福祉用具の体験等を行いました。縁日コーナーは栗原市内の高校生ボランティアが大活躍！多くの来場者にお立ち寄りいただきました。第2部は、シンガーソングライターやなせななさん制作映画『祭りのあと』の上映&コンサートを開催。やなせさんの心に染み入る歌声に、会場中が酔いしれていました。

今回の医療介護フェアには、第1部と第2部合わせ約400人の方にお越しいただきました。開催にあたり、職能団体の皆様に多方面でご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

## 第1部 医療介護の展示・ 相談コーナー& 縁日コーナー



栗原薬剤師会 写真右：モバイルファーマシー  
(災害対策医薬品供給車両)



宮城県ケアマネジャー  
協会栗原支部



地域包括  
支援センター



リハサポート桜樹



やまと在宅診療所栗原



栗原訪問看護ステーション



ピース訪問看護ステーション



栗原市社会福祉協議会



アースサポート栗原



ケインくりはら



ゆうゆう工房



栗原中央病院



宮城県迫桜高等学校



縁日コーナーの輪投げ(左)、ボウリング(右)



健康相談や福祉用具の体験、点字を使った名刺作成、施設利用者さんの作品展示など、それぞれの専門性を活かしたブースが勢ぞろい！駐車場には宮城県が全国で初めて導入した災害対策医薬品供給車両『モバイルファーマシー』の展示もあり、どのブースも多くの方が足を止め、賑わっていました。縁日コーナーは高校生ボランティアが盛り上げ、小さなお子さんから大人まで楽しんでいました😊

## 第2部 やなせななさん 制作映画上映& コンサート



司会の特別養護老人ホーム  
山王 後藤幸子さん(左)、ご  
挨拶を頂戴した栗原市医師  
会 会長 宮城島堅先生(右)



やなせななさん(写真上)  
物販も大盛況！(写真右上  
段)、協力員&ボランティア  
の皆さん(写真右下段)



くりはらの医療介護フェア 大成功！  
R8.7.4(土) 栗原文化会館

【編集後記】くりはらの医療介護フェアを開催し、改めて普段からのつながりの大切さを実感しました。応援していただいた方々に感謝申し上げます。在宅センターは、これからも“人と人をつなぐこと”を推進します。